

車いすのまま、あらゆる ポジションで 障がい児（者）の 治療が行える

山口県山口市 社団法人 山口県歯科医師会
導入前までは、障がい児（者）が車いすで来診した時は、私たち数人が介助してチェアに座らせなければなりませんでした。その労力や負担、ストレスや時間を解消したいという現場のニーズが強い動機づけになり、車いすのまま治療が完了するスタイルを導入することになりました。



障がい者の自立生活を支援する口腔保健センターの治療室



車いすからチェアへの移動介助の負担を解消、あらゆるポジションでの歯科治療を可能にしたユーティリオ